

横財管 第57号
令和3年(2021年)7月13日

横須賀市議会
新型コロナウイルス感染症対策検討協議会
委員長 西郷宗範様

横須賀市長 上地克明

新型コロナウイルスへの対策等に関する要望・確認事項について

令和3年(2021年)7月7日付「新型コロナウイルスへの対策等に関する要望・確認事項について」に係る要望等事項について、別紙のとおり回答いたします。

No	要望等事項	対象部局等	回答	前回No	資料	番号
1	ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症の発症を防げるかは分かっておらず、重症化しにくいということと認識しているが、ワクチン接種済み者のノーマスクが増えてきている。ワクチン接種時に接種後のマスクの着用について説明を行っているのか確認したい。	健康部	ワクチン接種の第一歩である接種券送付時に同封している「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」に「ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要」があることを明記しています。 また、集団接種会場ではスタッフによる声掛け、お忘れの方用のマスクの準備、接種後にお渡しするチラシで感染予防対策をお願いしています。	新	②	148
2	第9クール以降のワクチン供給量が減少するという報道があったが、本市においての供給量の状況はどうか確認したい。	健康部	供給状況は次のとおりです。 第9クール（7月5日～18日） 28箱（32,760回分）（7月9日入荷） 第10クール（7月19日～8月1日） 22箱（25,740回分）（入荷日未定） 以下、見込み 第11クール（8月2日～15日） 23箱（26,910回分） 第12クール（8月15日～29日） 22箱（25,740回分）	新	②	152
3	救急医療センターで、ワクチンが余っているという情報がある。医療施設や接種施設におけるワクチンの供給、備蓄、残量について状況を把握しているのか、無駄なく有効活用できているのか、また今後の見通しはどうか確認したい。	健康部	救急医療センターに配送された医療従事者用のワクチンのうち未接種分は神奈川県が回収したと聞いています。 本市に供給され、現在の残量を把握したうえで7月5日の接種券発送を見直しました。 無駄のないように有効に、効率的に接種できるよう、常にワクチン量を確認して、接種計画を柔軟に対応します。	新	②	153
4	地域のクリニックからワクチンの供給見通しについて市に尋ねてもわからないという回答があり、困惑しているという声を聞いた。これではワクチン接種の予約を組むことができない。国からの情報提供の有無、正確性、見通しについて確認したい。また、クリニック、かかりつけ医等へワクチン供給の情報をどのように通達しているのか確認したい。	健康部	まず第一にワクチン供給スケジュールは国の役割であることをお伝えします。 市としても国の供給スケジュール、供給量が明確に示されずに困惑しているところです。 常々国、県に対して早期に、詳細なスケジュールを提示してほしいことを要望している状況です。 また、市から医療機関に向けて、予約枠設定時を通知する際や接種計画を見直した際など、逐次情報を提供しています。	新	②	154
5	7月以降、ワクチン接種の対象年齢層が広がる中、基礎疾患がない人の予約開始日は以前と同じように一斉なのか。また、現在の予約方法でシステム上対応できるか確認したい。	健康部	(1) 対象年齢層は広がりますが、基礎疾患患者優先や年代別接種順により、予約の分散化を図ることとしています。 (2) 5月上旬から引き続きシステム環境の整備を行っておりますので、現在の予約方法で対応できるものと考えています。	新	②	155
6	7月12日から45歳から64歳までの基礎疾患がある人の接種が始まるが、その他の予定は未定となってしまった。 今後、ワクチンの供給量が増加した場合には、基礎疾患がない人の予約や、44歳以下の接種券発送は当初のスケジュールに近い形で行っていくのか確認したい。	健康部	ワクチンの供給量や予約の状況を慎重にみて、無駄のないように有効に、効率的に接種できるよう、常にワクチン量を確認して、接種計画を柔軟に対応します。	新	②	156

No	要望等事項	対象部局等	回答	前回No	資料	番号
7	現在の接種計画では、45歳から64歳については基礎疾患のある方が優先予約となっているが、44歳未満の方については現時点で未定であり、その年代については基礎疾患のある方でも優先してワクチン接種ができないことになっている。 ワクチンロスを活用するなど、全年齢において基礎疾患のある人が優先して打てるような策を考えているのか。 また、現時点における全体的な接種計画を確認したい。	健康部	7月5日にご報告したとおり、基礎疾患を持つ方をはじめに接種していただくように計画を変更しました。 7月12日に45歳から64歳の方に接種券を発送します。そしてまずは基礎疾患のある方に予約・接種していただきます。基礎疾患のある方の予約・接種の進み具合とワクチンの供給量の状況を見て、順次44歳以下の方に接種券を発送し、同様に基礎疾患のある方から接種していただきます。その後、基礎疾患のない方の予約を受け付け、接種を開始します。	新	②	157
8	12歳から18歳未満のワクチン接種について、現状でスケジュールなどわかっていることはあるのか確認したい。	健康部	ワクチンの供給量や予約の状況を慎重にみて、無駄のないように有効に、効率的に接種できるよう、常にワクチン量を確認して、接種計画を柔軟に対応します。	新	②	158
9	ともしびショップのような知的・精神障害者の就労先は優先接種の対象に含まれないのか確認したい。	福祉部 健康部	クラスター発生の可能性が高い職種の方、重症化リスクの高い方を対象として優先接種を行っており、そこには障害者施設職員や知的・精神障害者の方も含まれますが、ともしびショップなどの就労先については対象となっていません。 ただし、ともしびショップ等で働いている知的・精神障害者は優先接種の対象となり、優先順位の高い方から順次ご案内しているところです。 なお、この優先接種と並行して行っている一般接種においても、高齢者の次の優先順位となっている「基礎疾患のある人」には、知的・精神障害者の方（療育手帳や精神障害者保健福祉手帳を所持している方）が含まれます。	新	②	159
10	訪問看護を利用している市民の方から、訪問看護師がまだ接種できていないと聞いた。医療従事者への接種は先行して行われていたはずだが、どのようなスキームで行われているのか確認したい。 また、現在の接種状況（接種者数、接種率）はいかがか確認したい。	健康部	医療従事者等の優先接種は神奈川県が実施しています。流れは、医療機関が接種を希望する医療従事者等の一覧表を神奈川県に提出し県から供給されたワクチンを接種します。 医療従事者等 接種人数 1回目14,162人、2回目13,287人。【7/9現在】 接種率 1回目118.0%、2回目110.7%。 国が示した総人口の3%で計算した約12,000人を接種対象者数として算定 出典：V-SYS（ワクチン接種円滑化システム）。市内医療機関勤務者数のため市外在住者を含みます。	新	②	160
11	市役所1階のワクチン予約相談窓口職員が配置されているが、当初ほど市民も来ていない。今後のあり方をどう考えているのか確認したい。	市長室	当窓口については、主に高齢者からの希望の声に応えるため、これまで業務委託および全部局からの応援職員により運営を行ってきました。 7月1日からは利用者の減少を想定して、委託人数を半減し、さらに応援職員についても当日の状況に応じて人数を削減するなど、適切な人員配置を行ってまいりました。 また、7月12日からは64歳～45歳への接種券を配布しておりますので、状況に応じて応援職員を増減し、柔軟に対応しています。 今後は、接種券送付の対象年齢の若年化に伴って需要が減少すると見込んでいるため、規模縮小を想定しておりますが、引き続き利用状況を鑑みて、適切な人員配置に努めてまいります。	新	②	161

No	要望等事項	対象部局等	回答	前回No	資料	番号
12	2か所ある集団接種会場だが、横須賀アリーナ会場は比較的空いている印象がある。適切な人員配置のため両会場の接種希望者数を確認したい。	健康部	<p>集団接種会場の6月の希望者数（接種者数）は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナ：1回目 19,834人、2回目 5,403人 ・さいか屋：1回目 18,137人、2回目 12,368人 	新	②	164
13	横須賀アリーナで接種した市民から、「待っている際に椅子もなく立たされたままでとても疲れた。もっと配慮してほしい。」というご意見があった。長時間の滞留がないように工夫していることと思うが、待合の配慮などはどのようになっているのか確認したい。	健康部	<p>アリーナは比較的空いているので、長時間お立ちいただくことはあまりないと思います。</p> <p>また、お待ちいただくことが予想される接種待機場所と接種後の経過観察場所には椅子を配置して、座っていただけるように運営しています。</p>	新	②	166
14	職員の適切な働き方のために確認したい。コロナ対応のため併任等で全庁的な応援体制を組んでいるが時間外勤務が月200時間を超えている職員が数多くいると聞く。事実ならば是正すべきと考える。実態を確認したい。	総務部 健康部	<p>令和3年5月に月200時間を超える時間外勤務を行った職員が7名いました。</p> <p>該当者は健康部の職員と健康部に併任している職員で、その全員がコロナワクチン業務を専任で行っています。</p> <p>このような状況を踏まえ、総務部と協議し、6月に必要な組織改正の実施と健康部内の業務応援に加え、全庁からの協力を得ることにより人員の増員を行いましたので、6月の時間外は減少しています。</p> <p>引き続き、総務部と協議しながら、時間外勤務の適正化に努めてまいります。</p>	新	②	167
15	保健所における各種健診業務の停止・縮小の現状について確認したい。	健康部	<p>令和2年4月の緊急事態宣言発出をきっかけに、保健所健診センターの健診事業を縮小しています。</p> <p>「成人健康診査、特定健康診査、後期高齢者健康診査、生活保護受給者等健康診査」は中止しています。</p> <p>がん検診は種類と回数を縮小していますが、実施中です。「胃がんリスク検診、前立腺がん検診」は中止していますが、「乳がん・子宮頸がん検診・胸部検診・大腸がん検診、骨密度検診」は通常時比の4割から5割程度で実施しています。</p> <p>ワクチン接種が広まりコロナ禍が収束し始めるであろうと予測するとともに、健診による疾病予防に軸を移すことが重要と考え、本年10月頃から健診センターでの健診事業を、段階的に縮小を解除していく予定としています。</p>	新	②	169
16	接種スケジュールが見通せない中、このままいくとインフルエンザワクチン接種の時期と被る人も出てくると思うが、同時期に打っても問題がないのか確認したい。	健康部	<p>ワクチン接種の手引きには、「前後に他の予防接種を行う場合においては、原則として13日以上の間隔をおくこととし、他の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行わないこと」と示されています。</p> <p>インフルエンザワクチン接種についても同様で、13日以上の間隔をおけば問題はないと考えます。</p>	新	②	170